

■麻酔科

1. 麻酔科 2018 年度の目標及び方針

1) 手術件数の増大に合わせた麻酔科医の確保

本年度は4人の専門医退職者に対し3人の補充しか叶わず、伸び続ける手術件数に対応が難しくなっている。各方面にリクルートをかけているが現時点で難しい状況が続いている。

そのため今年度は麻酔科医の効率的運用を図るため、腰椎麻酔、局所麻酔等の手術症例を外科の各科管理にゆだね、麻酔科医を全身麻酔症例に集中的に振り分けたいと考えている。特に手術件数の増えている泌尿器科の若い医師には麻酔科研修を受けてもらい自家麻酔の安全性を担保する予定である。

2) 患者にとって安全で快適な麻酔の実践

麻酔件数の増大に伴い麻酔の安全性が担保されないのは問題外である。さらに患者にとって快適で安心できる麻酔で無ければ亀田総合病院の麻酔とし容認は出来ない。この二律相反を成し遂げるには効率よく人材/資源を運用し、各麻酔科医が自分の技能向上に努めなければならない。

3) 新専門医育成病院としてのアドバンテージの広報

当院の豊富な症例を生かし、他の病院へ研修に行かなくても麻酔専門医修得が行えるという、理想的な教育病院としての機能を持っている。このアドバンテージをより多くの若い麻酔科研修医に広報しリクルートメントに努める。

さらに、今年度はアイオワ大学より心臓麻酔専門医を招聘できたので、彼を中心に心臓麻酔研修医病院としての特徴を打ち出しリクルートメントにも努めたい。

2. 年間活動内容

1) 亀田セミナー開催

毎年7月に岡山大学よりの協力を得て、亀田セミナーとして講義とハンズオンセミナーを開催し若い医師に教育を行っている。

2) 抄読会 (週2回)

最新英語論文の抄読会

3) エコーガイド下神経ブロックのハンズオンセミナー開催

3. 実績(症例件数や手術実績等)

2017 年麻酔科管理症例数

診療科	予定手術件数	緊急手術件数
消化器外科	573	141
呼吸器外科	214	12
乳腺科	649	8
心臓外科	39	162
整形外科	854	27
泌尿器科	841	27
産婦人科	676	114
脳外科	132	24
耳鼻頭頸科	370	46
口腔外科	114	3
形成外科	253	20
小児外科	52	13
循環器内科	24	1
心療内科	103	0
脊椎外科	321	14
スポーツ整形	269	1
生殖医科	24	0
腎移植科	16	2
外科	199	0
ウロギネ科	249	0
その他	9	0
合計	6104	594

4. 学術関係

1) 吉沼裕美

日本区域麻酔学会第 4 回学術集会

当院における腕神経叢ブロック後の神経障害の検討

2) 吉沼裕美

日本麻酔科学会第 64 回学術集会

大量に灌流液を使用するホルミウムレーザー前立腺核出術における SpootOn 深部温モニタリングシステムを用いた体温管理

3) 小林収

関東甲信越第 57 回合同学術集会

循環器部門座長

4) 吉沼裕美

日本ペインクリニック学会第 51 回大会

鼠径ヘルニア術後の慢性痛治療に難渋した一例

5) 加納美咲

日本ペインクリニック学会第 51 回大会

腸骨鼠径・下腹神経ブロックにより鼠径ヘルニア修復術後の神経絞扼が判明し、再手術を行い軽快した 1 例

6) 小室多恵子

公益社団法人日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 57 回合同学術集会

肋間動脈の外傷性仮性動脈瘤が術中の体位変換または手術操作により破裂したと思われる腰椎破裂骨折症例の麻酔

7) 河野広之

日本心臓血管麻酔学会第 22 回学術大会

上大静脈症候群を伴う胸腺腫摘出術中の脳灌流維持に内頸静脈カテーテルからの用手脱血が有用であった一例

8) 吉沼裕美

Anesthesiology Annual Meeting 2017

Successful Tracheal Intubation Requires at Least 50 Cases: The Experience of Six Junior Residents